

**報道関係者さま ニュースリリース：仙北インパクトチャレンジ開催**

**2018年1月16日**

**「リリースキャッチ」**

2018年2月17日にあきた芸術村で、IoT/AIを活用した事業化を目指す産官学の関係企業など約20社が参集するイベントを開催する。

**「リリース本文」**

「仙北インパクトチャレンジ」は、「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」をメインテーマに、来る2018年2月17日に秋田県仙北市あきた芸術村に全国からIoT/AI関連の事業者、官公庁の関連機関、大学、メディアなど約20数団体が参集する。同日同じくあきた芸術村で開催する仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバルと合わせて約700名の参加者を見込んでいる。

仙北インパクトチャレンジは一般社団法人創生する未来と、SFPパートナーズ、仙北市IoT推進ラボ、秋田ケーブルテレビ、仙北市の連携で実現した。秋田県仙北市での開催は2016年に国家戦略特区として仙北市が選定され、IoT/AIなどを活用した実証事業を数多く行ってきたためだ。全国に仙北市関連した事業者が全国に数多くいること、同時に地方版IoT推進ラボとして、仙北市が秋田県内では初めてのラボとして活動していることから、今回の企画の実行地域としては最適であるとして選定された。

イベントはIoT/AIなどの最新技術を活用して事業化を推進する事例などを持ち寄って、発表会や関係者の情報交換、交流会を行う。今後全国のIoT/AIの事業化の事例などを中心としたイベントとして、秋田県では毎年この時期に開催することを志向している。

**「説明文」**

**1.仙北インパクトチャレンジとは何か？**

仙北インパクトチャレンジは、「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」をメインテーマに、来る2018年2月17日に秋田県仙北市あきた芸術村に全国からIoT/AI関連の事業者、官公庁の関連機関、大学、メディアなど20数団体が参集する。同日のフィルムフェスティバルと合わせて約700名の参加者を見込んでいる。

イベント参加者はIoT/AIなどの最新技術を活用して事業化を推進する事例などを持ち寄って、発表会を通じて関係者の情報交換、交流会を行う。今後インパクトチャレンジは全国のIoT/AIの事業化の事例などを中心とした見本市および全国のリーダー集まるカンファレンスとして、仙北市で毎年開催することを志向している。

**2.仙北市で開催される背景-国家戦略特区としての先行事例**

仙北インパクトチャレンジは、地域の経済活動を支援することを目的に2017年6月に設立された一般社団法人創生する未来と、SFPパートナーズ、仙北市IoT推進ラボ、秋田ケーブルテレビ、仙北市の連携で実現

した。秋田県仙北市での開催は 2016 年に国家戦略特区として仙北市が選定され、IoT/AI などを活用した実証事業を数多く行ってきたためだ。全国に仙北市関連した事業者が全国に数多くいることと、同時に地方版 IoT 推進ラボとして、仙北市が秋田県内では初めてのラボとして活動していることから、今回の企画の実行地域としては最適であるとして選定された。

### 3.あきた芸術村で開催される理由

開催場所の「あきた芸術村」は、仙北市のランドマーク的な施設で、地元劇団わらび座の専用劇場や温泉施設ゆぼぼなどの宿泊施設、地ビールレストランなど舞台芸術を中心とする、総合レジャー施設である。仙北インパクトチャレンジはそのあきた芸術村の主要施設を用いて、仙北市、秋田県内だけでなく、全国から IT 企業や大学関係者など約 20 社が参集して、ブース展示、参加者による交流、情報交換、提案活動、講演会などを 2 月 17 日に開催する。また同日に国際空撮映像コンテスト「仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル」の最終審査・発表会がわらび劇場で開催される。またわらび座の有する DAF（デジタルアートファクトリー）ではモーションキャプチャーを用いた、舞踊のデジタル実験や富士通のろう者向けのデバイス Ontenna を活用したわらび座団員によるパフォーマンスなど予定されている。

### 4.実行委員長からのコメント

これからの社会は、地域や場所などとらわれることなく、いつでもどこでも事業をスタートはできる環境にあります。今回は仙北市 IoT 推進ラボを中心に、これからの未来を創造するために、国家戦略特区認定のアドバンテージを生かした事業を展開しながら、2018 年 2 月の国際空撮映像コンテスト「仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル」の発表とあわせて仙北インパクトチャレンジを開催します。新規の事業を展開するうえで特区という有利な条件を生かして、民間の資本をもとに、仙北市（秋田）を拠点とした、事業創造のための見本市、企業連携、交流の場を構築します。定点的な活動、イベントを、もともと秋田の典型的な冬の雪のある時期に、仙北市のランドマーク的なあきた芸術村で実施することに意義があります。地域と首都圏の交流。近代技術を伝統文化との交流。産業と官庁、学術団体との融合など新たな事業創造の発火点となるイベントが仙北インパクトチャレンジです。大いに期待してください。（伊嶋謙二）

### 5.主催

#### 仙北インパクトチャレンジ 実行委員会

- ・仙北市 IoT 推進ラボ
- ・一般社団法人 創生する未来
- ・SFP パートナース
- ・株式会社秋田ケーブルテレビ

### 6.後援（予定）

経済産業省 東北経済局  
独立行政法人 情報処理推進機構  
地方版 IoT 推進ラボ  
一般社団法人 秋田県情報産業協会  
株式会社わらび座

秋田県  
仙北市

「連絡先」

仙北インパクトチャレンジ実行委員会

実行委員長伊嶋謙二

三宅創太

藤本有希

<http://souseimirai.jp/index.html>

電話 5244-6691 FAX 5244-6692

e-mail : [ishima@souseimirai.jp](mailto:ishima@souseimirai.jp)

・ <https://www.facebook.com/events/247328165740296/>

・「Web マガジン創生する未来」

<https://wirelesswire.jp/mirai/>

実行委員会事務局

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字源左工門野 96

「TAZAWAKO ベース」内

(秋田新幹線田沢湖駅前「みずうみ」別棟 1F)

e-mail : [tazawako.b@gmail.com](mailto:tazawako.b@gmail.com)

「代表者の略歴」

一般社団法人創生する未来 代表理事 伊嶋謙二

1956年秋田生まれ。矢野経済研究所でのIT産業の調査・研究業務に従事した後、1998年にIT調査会社ノークリサーチを設立し、代表取締役社長に就任。中堅・中小企業（SMB）市場のIT調査を得意とし、SMBのIT利用実態に詳しい。民間企業だけでなく経済産業省、総務省などの官庁や商工会議所や自治体などの公的な団体からの調査・コンサルティングも行う。また様々な関連業界誌で積極的な執筆も展開中。2017年6月に一般社団法人創生する未来を設立。現在に至る。

## 「仙北インパクトチャレンジ詳細」

**テーマ：**「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」

### ステージ（プレゼン）

「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」のメインテーマにそった、各社の担当者によるプレゼンおよび質疑応答（約 20 分）、トークセッション

### ブース（出展）

今回のイベント企画に賛同した企業、団体による個別のブース出展、展示、商談など

### 「日程」

2018 年 2 月 17 日 温泉ゆぼぼ 1F

「バンケットルーム」10 時から 18 時まで

『あきた芸術村 株式会社わらび座  
〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430  
Tel 0187-44-3311(代表) / Fax 0187-44-3314』

### 「スケジュール案」

10：00 ブース出展開始

12：00 仙北インパクトチャレンジステージ開始

開会の挨拶（開催者）

来賓のご挨拶

・東北経済産業局、IPA 地方版 IoT 推進ラボ担当、仙北市長、わらび座代表

12：20-14：40（140 分）・進行担当事務局伊嶋、三宅

### 「構成」

・特別トークディスカッション（40 分）

「先端プロジェクト：ドローン×プログラミング教育の紹介」

〈次世代教育は地域から始める、今の先端テクノロジーだからこそ広がる未来〉

登壇者：玉川大学工学部准教授小酒井正和氏、FPVRobotics 株式会社代表取締役社長駒形政樹氏、秋田県西明寺小学校教員伊藤昭光氏、モデレータ：駒形氏

・個別プレゼンステージ（プレゼンは最大 5 組、各約 20 分）予定

東光鉄工

仙北市 IoT 推進ラボ

せんだい IoT 推進ラボ

玉川大学

秋田横連携 IoT 推進ラボ

大阪市 IoT 推進ラボなど

14 : 40 終了

フィルムフェスティバルへ移動

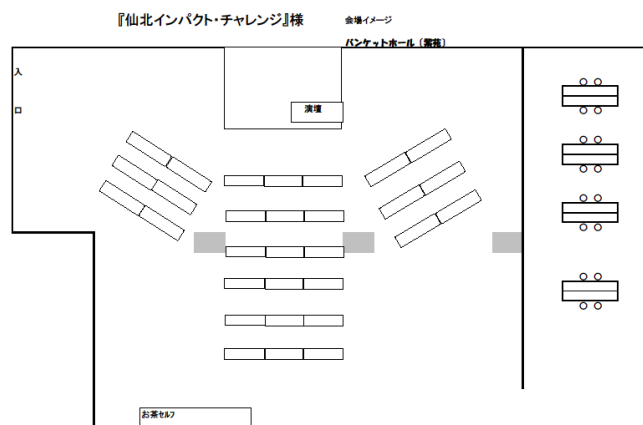
17 時懇親会（別会場）

### 「プレゼン、ブース出展候補（予定含む）」

・秋田ドローンコミュニティ・東光鉄工（ドローン農薬散布）・インフォテリア（IoT プラットフォーム）・楽天（ドローン管制システム）・富士通（antenna）・Local business base camp TAZAWAKO）・ゼロニウム・仙北 IoT 推進ラボ・大阪市 IoT 推進ラボ・秋田横連携 IoT 推進ラボ・会津 IoT 推進ラボ・せんだい IoT 推進ラボ（IIS）・宮城県 IoT 推進ラボ・玉川大学・秋田大学、県立秋田大学、国際教養大学・ノーザンハピネット・特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会、CNA、北都銀行、秋田銀行、秋田県情報産業協会、FPV Robotics

### 「参加対象者」

- ・IoT/AI を活用した事業を検討したい民間企業
- ・事業化を進めたい関係企業
- ・地域支援を進める地域コーディネーター
- ・事業化を目指す企業や事業に対して投資を行う銀行などの投資家
- ・官公庁・自治体関連者
- ・地方版 IoT 推進ラボの担当グループ
- ・メディア関連企業



※実際の配置とは若干異なりますのでご了承下さいませ  
1テーブル 3名様掛け